

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年6月16日

【評価実施概要】

事業所番号	3770300279
法人名	社会福祉法人敬世会
事業所名	グループホームやすらぎの家きやま
所在地	香川県坂出市川津町2001番地1 (電話)0877-45-1611

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成21年5月14日	評価決定日	平成21年6月16日

【情報提供票より】(21年4月23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)12年2月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	13人	常勤	12人, 非常勤 1人, 常勤換算 12.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り 1階建て
------	--------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,074円	その他の経費(月額)	4,500円+実費	
敷金	有()円	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	400円	昼食	550円
	夕食	550円	おやつ	100円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(5月14日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	2名	要介護2	6名		
要介護3	6名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 86.1歳	最低	80歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	永井整形外科医院 坂出市立病院 大塚歯科医院 つばさクリニック
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然豊かな山間で高齢者福祉を総合的に営む法人の中で、開設者の個別ケアを重視する思いから開設に至ったこのグループホームは、家庭的で温かい雰囲気が感じられる。管理者にも熱い思いがあり、職員は、それを熟知してそれぞれの持ち味を活かして利用者一人ひとりの人権や個性を尊重して、きめ細やかなケアを実践している。そのため利用者が明るく落ちついて暮らしている様子がうかがえる。母体である医療機関からは、週2回の訪問診療と24時間体制の訪問看護があり、利用者や家族等の安心した生活につながっている。今後の活躍が期待されるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で改善課題はないが、更なる充実に向けて管理者と職員は、常に課題を探りミーティングで話し合う等、前向きに取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は、管理者や職員がそれぞれの経験を通して意見を出し合い管理者がまとめ、再度職員に確認を求めている。評価を活かして今後のサービスの質の向上に取り組むたいとの姿勢がうかがえる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、事業所の現状や課題、今後取り組みたい事などを報告をして意見交換がなされている。また参加メンバーからは、今後の活動につながる温かい情報ももらったりしている。得られた情報は記録をして職員は共有し、運営に反映させている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>意見箱を設置したり、家族等の来訪時には、笑顔で接して意見や苦情、不安に思っていることを話しやすい雰囲気づくりに努めている。職員以外にも管理者がケアマネジャーが必ず声をかけるようにしている。得られた意見や苦情、不安に思っていること等は記録をして職員は共有し、職員会議で検討して運営に反映させている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩や買い物等に出かけた時は、隣近所の方々と挨拶を交わしたり、季節の野菜や花の差し入れ、子どもが事業所の犬と触れ合う等、ホームへの理解は得られている。地域の一員として自治会の行事や地域の運動会、文化祭に参加をしたり、様々なボランティアの受け入れ等、常に事業所と地域の人々が支えあう関係を深めていくよう努めている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム独自の理念をつくりあげ、各ユニット毎に、住み慣れた地域でその人らしく心穏やかに暮らしていくことを支援する3カ月毎の努力目標を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、ネームプレートに理念、目標を掲げ朝夕の申し送り時に確認し合い、一人ひとりが意識をして言葉かけ、態度、記録等日々の支援に活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩や買い物等外出時には、近隣の人々と挨拶を交わしたり立ち話をする。また季節の野菜や花等の差し入れ、子どもが事業所の犬と触れ合ったり、様々なボランティアの受け入れ、地域の行事への参加等、地域とふれあう機会は多く、事業所は常に交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者と職員は、評価の目的と意義を理解しており、今回自己評価には全職員で取り組み管理者がまとめ、再度職員に確認を求めている。前回の評価については全職員に伝達をして、評価を活かして前向きに取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、事業所の現状や課題、今後取り組みたいこと等を報告して意見交換がなされている。参加メンバーからは、今後の活動につながる温かい情報ももらっている。そこでの意見や情報は記録をしてサービスの向上に活かしている。	○	会議には、不定期にでも幅広い立場の人々に参加を依頼して、運営推進会議の意義や役割を理解し、多くの率直な意見を出して頂く取り組みに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市の窓口で質問や相談に行き助言等を得たり、市側からもよく情報を得たりして、市とともにサービスの質の向上に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族等の来訪時には、職員だけでなく管理者かケアマネジャーも声をかけて、利用者の日頃の暮らしぶりや健康状態、金銭管理等を細かく報告をしている。また本人や家族等の状況に応じて電話等で個別の報告をしている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置したり、家族等の来訪時には、笑顔で挨拶をし、日頃から人間関係をよくして話しやすい雰囲気づくりに努めている。出された意見や希望、苦情等については、職員は共有して運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内の異動はあるが、利用者が馴染みの管理者や職員による継続した支援を受けられるよう最小限におさえている。代わる場合は、認知症介護経験を考慮したり、引継ぎ期間を十分に取る等配慮している。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は、職員の段階に応じて内外の研修に参加する計画を立てて、参加する機会を確保している。参加者は、研修報告書を提出して全職員が閲覧している。職員は、非常に前向きで働きながらトレーニングしていくことに努めている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加入して、同業者と交流する機会を持ち、研修やネットワークづくりを行ったり、今年度は相互評価事業を予定する等、同業者とともにサービスの質の向上に努めている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	最初に利用者と家族等に見学に来てもらい、ショートステイの利用を繰り返し、職員や場の雰囲気に馴染めるよう工夫している。入居後も状況により家族等の訪問を多くしてもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、煮物やばら寿司等の味付け、掃除や畑仕事の仕方等を、人生の先輩として利用者から学んだり、時には励ましてもらう等、一緒に過ごしながらか穏やかな生活を支え合っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声をかけて、言葉や表情から汲みとる努力をしたり、家族等から些細な情報も得るようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	基本的に本人や家族等の参加を得て、意見や希望、要望を聞いて全職員で意見交換を行い、それぞれの意見やアイデアを活かして個別の具体的な計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月に1回の評価と3ヵ月毎の見直しを行っているが、利用者の状態の変化や家族等の要望があれば、迅速に対応出来るよう新たな計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族等の状況により通院の支援や特別な外出、買物等柔軟に対応している。またいつでもデイケアやショートステイの利用が出来るよう準備を整えている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は、本人や家族等の希望としているが、協力医療機関から週2回の訪問診療があり、ほとんどの利用者が納得した上で協力医療機関となっている。事業所は常に連絡を密にして適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に、主治医や家族等と話し合い、本人にとって最善のケアが受けられるよう方針の統一を図り、関係者全員が共有出来るよう文章化されている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の関わりの中で、利用者のプライバシーや気分を損ねるような言葉かけや対応はしていない。記録等個人情報の取り扱いも徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日のスケジュールは持っているが、職員は一人ひとりの24時間シートを活用し、思いやその日にしたい事等を把握して、見守りながらその人のペースに合わせた支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付け等が出来る利用者は、職員と一緒にやっている。利用者と職員は、同じテーブルで話をしながら楽しく食事をしている。最近は畑で取れた「いちご」を食べて喜ばれた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望で毎日でも自由に入浴出来るよう取り組んでいる。入浴を拒む利用者には、言葉かけや対応の工夫をする等、一人ひとりに合わせた支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は、一人ひとりの生活歴や趣味を把握して共有しており、得意とする分野で力を発揮してもらったり、お願い出来そうな事を頼み、役割、張り合い、気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の思いや希望を大切に、ドライブや犬の散歩等、短時間でも戸外に出る機会を積極的につくり、心身の活性につなげる支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者及び全職員は、鍵をかけることのデメリットを認識しており、日中玄関の鍵はかけず職員の見守りを徹底している。外出しそうな様子を察知したら、さりげなく声をかけて一緒に歩いたり、近くへドライブに行く等、自由な暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成して防災訓練を年2回行い、非難経路についても利用者と一緒に確認している。風水害や地震等、多岐にわたる災害対策についても法人内で協力体制をマニュアル化している。また地域の協力も得られるよう働きかけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は、法人内の栄養士が作成し、栄養バランスが配慮されている。職員は、一人ひとりに意識をして関わり、およその栄養摂取量や水分量を記録して把握している。時々栄養士にアドバイスをしてもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は、自然光を取り入れ適度に明るく、居間は、和風に障子で区切りをして、一人ひとりが思い思いの場所で、居心地よくゆったりと過ごされている様子が伺えた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は広く、使い慣れた馴染みのものや好みのもの、家族の写真等で自由にレイアウトが出来て、本人が安心して過ごせるよう配慮がなされている。		